

Nerima* ねりま区報

よりどりみどりねりま

➡ 3/11 令和5年(2023年)

第2001号 毎月1日・11日・21日発行

発行/練馬区 編集/広聴広報課
〒176-8501 豊玉北6-12-1
☎3993-1111(代表) FAX 3993-1194
https://www.city.nerima.tokyo.jp/



マイルランも開催!

3/26(日) 8:00 光が丘公園 スタート

練馬こぶしハーフマラソン 2023

問合せ 練馬こぶしハーフマラソン実行委員会事務局(シティマラソン係) ☎5984-3555 FAX 5984-1228

※雨天決行。
※ランナーの募集は終了しました。



ゲストランナー



©富士通株式会社
柏原竜二さん 谷川真理さん 吉田香織さん

イベントガイドを配布します

ランナーの応援スポットやイベント情報を紹介しています。
▶ 配布場所: 区民事務所、図書館、体育館、スポーツ振興課(区役所本庁舎8階)など ※大会ホームページでもご覧になれます。



大会の楽しみ方や交通規制などを2面で紹介

練馬区長 前川輝男

長谷川等伯「松林図」は美術展で見ました。深い霧に静まる纏綿たる松林は、江戸期以前の日本絵画の頂点、神品です。ピカソの「海の幸」や高島野十郎「蠟燭」も衝撃的でした。久隅守景「納涼図」は、写真をデスク上に置いてあります。区立美術館を全面改築します。生の芸術との出会いは、人生を変え世界を変えます。子ども達が幼い時から身近で芸術に親しみ、高齢者が人生の収穫期を楽しむ、練馬区ならではの美術館を区民の皆さんとともに創ろう。心に誓っています。

初めて新聞で見た瞬間、息をのみました。初夏の朝、陽が差し初め、澄明な大気に包まれた市街と水面が醸し出す静謐な魂を揺さぶられました。以来私は、フェルメールに呪縛されたままです。

名譽区民の松本零士さんが逝去されました。私の零士さんは銀河鉄道999です。若い私にはメールが眩しく見えました。御霊安かれと心からお祈りいたします。日本の漫画は芸術の域に達しています。私の学生時代が転機でした。大学の寮には創刊はやほやの漫画週刊誌が散乱し、水木しげる、ちばてつや、白土三平、西岸良平と読み漁りました。当時、「学生なのに漫画ばかり読んで」と批判されましたが、「読みもしないで的外れの事を」と友と笑ったものです。一方であの頃の私は吉本隆明に夢中になっていました。漫画もそうですが、芸術には出会いがあります。田舎の小学校を転々としていた頃は、手塚治虫の鉄腕アトムが精一杯でした。鹿児島市の中学に入ると直ぐ、図書室でマネの「笛を吹く少年」に遭遇しました。目が釘付けになりました。アングル「泉」の裸体の乙女も同時に見た筈ですが、多感な少年の記憶に、不思議な事にマネだけが刻まれています。



5階の窓から

区報は、朝日・産経・東京・日経・毎日・読売の各新聞に折り込んでいます。また、駅・金融機関・郵便局・公衆浴場・ファミリーマート・セブン・イレブン・西友・ライフ・サミット・ヤマダデンキ・コジマ・ルネサンスや区立施設にも置いてあります。

【掲載内容について】 講座などは、原則として区内在住・在勤(在学)の方が対象で、発行日(施設が休館の場合はその翌日)以降に申し込みができます。※申し込みは、1人1通。※参加費など記載のないものは無料。※区役所へ郵送する場合の宛先は、郵便番号(〒176-8501)と部署名のみで届きます。